

腹腔鏡/ロボット支援下結腸癌手術における Pfannenstiel 切開に ついての検討

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

腹腔鏡とロボット手術における Pfannenstiel 切開*の有用性について明らかにすることです。

*Pfannenstiel(ファンネンスチール)切開…恥骨結合より 2 横指頭側の部位に横切開を加えて開腹する方法です。

【対象】

2022 年 5 月～2024 年 3 月までの PS0～2 の S 状結腸を除く腹腔鏡/ロボット支援下結腸癌手術のうち体腔内吻合を施行した 100 例

【情報の利用目的及び利用方法】

腹腔鏡とロボット手術における Pfannenstiel 切開の有用性について明らかにすることを目的とし電子カルテから上記項目の情報を抽出し、レトロスペクティブに解析します。

【調査項目】

年齢、性別、BMI、手術記録、病理結果、体温表における排ガス・VAS・レスキューでの鎮痛剤使用回数、カルテ上の鎮痛剤使用回数、術後から食事開始までの日数、術後在院日数、術後合併症

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2022 年 5 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

【利用する者の範囲】

消化器外科 平木将之、手島和紀

【試料・情報の管理について責任を有する者】

消化器外科 平木将之

【研究期間】

実施許可日から 2024 年 10 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

平木 将之

関西労災病院 消化器外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail : hiraki-masayuki@kansaih.johas.go.jp